

平成 19 年度 第 2 回 理事会 抄録

日時：平成 19 年 6 月 21 日（木）13：00～16：23

場所：鹿児島県医師会館 5 階中ホール

出席：杉原（会長）、中村（春）、山根（副会長）、荻原（事務局長）、古川、長谷川（監事）、岩瀬、太田、小林（正）、香山、鶴見、早川（宏）、比留間（常務理事）、大熊、片岡、糊澤、小林（毅）、澤田、早川（昭）、日垣、三澤、山本（理事）、石塚、毛束、中里（部・委員長）、寺山（顧問）

I 審議事項

1. 第 42 回 総会 次第について（中里 総会議事運営委員長）1) 学会長挨拶、議長・副議長紹介…岩瀬 学会長挨拶と議長奥村好誠氏（第一リハビリテーション専門学校）、副議長矢野亮一氏（長崎県五島保健所）が紹介された。

2) 総会の進行について…日時：6 月 22 日（金）16 時 10 分より 18 時。会場：鹿児島市民文化ホール第 2 ホール。学会受付時にネームプレートと一緒に委任状を渡す方法で委任状を回収する。議案書第 1 号議案 18 年度事業報告において、①「作業療法士総合補償保険制度」の状況、②国政選挙に係る政策協定に基づく協会推薦について、の 2 点についてスライドを使用して追加報告する。

→ 承認

2. 大規模災害時支援活動マニュアル（案）について（毛束 企画調整委員長）マニュアルを作成する目的、大規模災害の定義、マニュアル適用範囲、協会の対応について、都道府県作業療法士会の対応についてまとめた。用語の使い方、表記等について多少の訂正を加える。 → 承認

3. 発達障害児・者の支援に関わる要望書（案）について（三澤 保健福祉部担当理事）厚生労働省へ発達障害者支援体制整備事業に対する作業療法士の活用について、文部科学省へ特別支援教育の推進に関わる専門職としての作業療法士の教育現場での積極的な活用についての要望書を提出する。 → 承認

4. 生涯教育制度改正の概要（案）について（早川（宏）生涯教育部担当理事）当初より定期的制度見直しの必要性が指摘されていたことと専門作業療法士制度を含めた生涯教育制度全体の整合性を図るための制度改正を目的とした検討を行っており、具体的な改正案については 9

月の理事会に提示する。 → **承認**

5. オーストラリア OT 協会からの提案について（荻原事務局長）オーストラリア OT 協会より両国間で学会参加費等において自国の正会員と同等の扱いをするよう提案があり、当協会では賛同するとともに、2004年よりすでにそのような体制を取っている旨の文書を送付する。

→ **承認**

6. JICA 医療リハビリテーション小委員会委員の推薦について（会長）医療リハビリテーション小委員会委員の推薦依頼があり、奈良進弘氏を推薦する。 → **承認**

7. 金ジョンオク氏との政策協定について（会長）金ジョンオク氏より推薦依頼があり、政策協定を結び推薦することとした。 → **承認**

8. その他（荻原事務局長）1）リハビリテーションデータベースについて厚労省の長寿科学総合研究として脳卒中リハビリテーション患者のデータベース集積に関連して、研究会にオブザーバーとしての参加依頼があり、澤田理事が出席する。 → **承認**

2）賛助会員入会希望・退会者について（荻原事務局長）作業療法の本を出版している（株）文光堂より C 会員として入会希望。死亡による退会者 1 名。 → **承認**

II 報告事項

1. 総会の対応について 1）「作業療法士総合補償保険制度」保険代理店について（日垣福利部担当理事）代理店について問題があるので、次年度以降のあり方について検討している。 2）国政選挙に関連して（会長）政策協定ができれば推薦することが第 23 回総会（1988 年）で承認されている。 3）その他（会長）生涯教育制度について積極的な構想を持っている方たちと生涯教育部と話し合い、調整しながら進めていく方法をとる。

2. 診療報酬要望書（修正案）について（榑澤・太田・山本保険部担当理事）前回理事会で出された意見をもとに、検討し修正を加えた。6月25日に厚労省を訪問する。要望書に関してはリハビリテーション関連 5 団体にも提出している。

3. 渉外部活動報告 1）リハビリテーション関連 5 団体協議会の動向について（山本保険部担当理事）①リハビリテーション医学会が 5 月 23 日に厚生労働省に要望書提出しているが、平成 20 年度の要望 12 項目の中に当協会

の意見も含まれている。②リハビリテーション医療のブランドデザインに関して、8月中旬に意見集約を終了し、9月のリハビリテーション合同ケア大会で紹介される予定。**2) リハの効果的な実施に関する検討事業**(平成19年度分)について(山本保険部担当理事)リハビリテーションの効果的な実施に関する検討事業として日本リハビリテーション病院・施設協会に委託された事業に、リハビリテーション関連5団体が参画している。今年度も継続する。**3) 公衆衛生協会地域保健推進事業障害活動報告**(中村副会長)地域保健推進事業の研究助成について19年度も助成を受けられる予定。**4) その他**(香山理事)①今年度、精従懇談会を2ヶ月に1回と勉強会を開催する。②精神科病院の機能評価及び情報公開に関する研究に関連して、アンケート調査を実施、報告書を作成中。今年度は「臨床作業療法部門自己評価表」を改定したものを精神科特有の役割機能があるかどうかを明らかにするために、精神科以外の方にも調査させていただく。(大熊理事)役員合同研修会を9月8・9日に日本工学院で開催。(榎澤理事)精神科広報ビデオを7月に発送予定。